



海鷹祭アーカイブ1：昭和60（1985）年の海鷹祭
メインストリートに大漁旗やメッセージが掲げられているのが印象的です。カッターレースも目玉企画でした

New Wave

ブルーエコノミーとブルージャスティス Blue Economy and Blue Justice
..... 李 銀姫 Yinji LI (40修)4

水産と海洋について考える会

魚類の多様性研究 魚類分類学からデータベース構築まで
..... 松浦啓一 (19増大)8

ランチ・セミナー

公務員が営業活動!? 一産地ブランドを伝える戦略について
..... 小寺 昇 (9 海資源)14

シリーズ 崩壊の危機に直面する沿岸漁業

8. マダコとイイダコ 乾 政秀 (18製大)18

海鳴り

公文書にみる水産先達-5 ウィーン万国博覧会日本参加準備のため奥国
に先遣された関澤明清 大場俊雄 (3 増大)26

Mail Box

奥谷喬司東京水産大学名誉教授 (2 増大) を偲ぶ会
..... 石原 元 (23増大)28

JICA 海外シニア協力隊体験記 最終回：～JICA 協力隊活動に参加して
率直なまとめ～ 菅原洋一 (24漁大)31

母校だより

2025年度オープンキャンパスが開催されました，海洋生命科学部および
海洋資源環境学部学術研究奨励基金 学術交流協定に基づく学部学生等の

[表紙のことば] マーシャル諸島で活躍する ODA の漁船

29 の珊瑚環礁と五つの小島からなるマーシャル諸島共和国は，“太平洋に浮かぶ真珠の首飾り”と呼ばれる美しい島嶼国です。ここに約 4 万人の人々が点在するように暮らしています。1 万人以上の人口をもつ二つの町以外の環礁では，ほぼ自給自足の生活が営まれています。

貨幣経済を進めるため，マーシャル政府は首都マジュロ市から漁船（集魚船）を出し，各環礁の漁師さんたちが獲った魚介類を買い上げ，マジュロに持ち帰って販売しています。環礁に暮らす人々の現金収入を実現するのがこの事業の目的です。日本はこの社会福祉的公共事業に，すでに 10 年以上にわたって支援を続けています。

菅原洋一 (24 漁大)

海外派遣の支援（V種ア）交換留学報告，海洋大学紹介記事一覧	36
楽水だより	
第66回 海鷹祭に出店します，会務報告，ご寄附のお礼，楽水会活動支援金，お悔やみ，メールマガジン目次	41
ほんだな	
我が師，反骨の魚類学者，加福竹一郎 池ノ上 宏（12増大）	45
石原 元（23増大）	45
同窓だより・学級だより	
カッター部 25-26-27-28-29 OB 会	47
林 泰夫（27漁生）	47
東京海洋大学ラグビー部創部100周年記念式典祝賀会の報告	48
吉永辰雄（26漁大）	48
私の職場	
国土交通省	50
笠井崇弘（11海環境）	50
キャリア支援センター News	
海洋科学専攻科学生の進路希望の傾向とその実現について	52
鈴木光俊（34漁生）	52
クラブ活動の今	
品川キャンパス 硬式庭球部	53
荒井晴香（食品生産科学科3年）	53
リフレッシュ・コーナー	
Horrible Old Man's Pun Quiz	55
Noball Strikeout Takeno（16増大）	55
ねぼけ川柳	57
石原笑爺（17製大）	57
俳句	58
逸見真三（11製大）	58

編集後記

楽水会法人賛助会員一覧

賛助広告索引用名簿

賛助広告

楽水会会員優待制度で協力店



海鷹祭アーカイブ2：昭和60（1985）年の海鷹祭
正門入口は「海」と「鷹」の作品で出迎えられました

令和 7 年10月